

## 訪問教育について

訪問教育とは、特別支援学校教育における教育の一形態で、通学して教育を受けることが難しい児童生徒に対して、教員が家庭などを訪問して教育を行うものです。中学部生1名、小学部生2名の計3名がそれぞれの学習に励んでいます。(5月1日現在)

### 1 目標

- (1)心身の健康の維持・増進に努める。
- (2)身近な人や物と相互にかかわり合う活動を通して、それらへの興味・関心を喚起し、自らかかわろうとする力を育てる。
- (3)一人一人の疾病や障害、発達段階や生活環境を踏まえた学習指導の実践に努め、より豊かな生活の拡大を図る。
- (4)保護者との協力・連携を図る。

### 2 授業日数及び授業時数

- ・年間35週で、週3回、年間105日(210時間)行う。
- ・1回の訪問時間は2時間で、午前か午後のどちらかで行う。
- ・状況に応じて、オンライン授業を行う。
- ・スクーリング

同学年の授業や学校行事・学部行事などに参加する。

(目標：集団での活動を通して経験を深め、興味・関心の幅を広げる。)

※スクーリングに参加する際には、必ず保護者が付き添うことになっています。

### 3 学習について

- 自立活動
  - ・学校・学年の行事(遠足や校外学習など)に参加する。
  - ・個々の児童生徒の実態に応じて、五感を刺激する感触遊び、揺れや振動、光を感じる遊び、ふれあい体操、課題別学習などを行う。

#### ○訪問授業の流れ(例)

学習活動	内容
健康観察	・呼びかけ、表情の観察、身体に触れるなどによる観察、バイタルチェックなど
1 始めの会	・あいさつ、始めの歌、呼名、日にち・天気調べ、今日の予定
2 自立活動	・「体操をしよう」、「泡で遊ぼう」、「足湯をしよう」、「スイッチで動かそう」など ・「おはなしを聞こう」、「カレンダーをつくろう」、「音楽を楽しもう」、「スクーリングに行こう」など
3 終わりの会 健康観察	・今日の振り返り、終わりの歌、あいさつ ・呼びかけ、表情の観察、身体に触れるなどによる観察、バイタルチェックなど

・教師と児童生徒の1対1を基本とするが、授業の内容によっては、複数訪問や家族などの協力による学習(誕生会・散歩など)を行う。